



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

令和4年9月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HPwww.nobeoka-catholic.com

No51

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

教皇フランシスコ回勅「兄弟のみなさん」を通して

《自由、平等、兄弟愛》

兄弟愛は、個人の自由の尊重によって生み出される、しっかりと統制された平等がありさえすれば生じるものではありません。・・・兄弟愛には、自由と平等に寄与する前向きなものがあります。意識的に兄弟愛を培わなければ・・・兄弟のための、対話のための、価値観としての相互贈与と相互繁栄の発見のための教育になるような、兄弟愛へ向かう政治的意志が欠けていれば、どうなるのでしょうか。自由が劣化し、そうして、誰かや何かに属するため、ひたすら自己完結の孤立状態が一層深まるのです。

平等は、・・・兄弟愛の意識的で教育的な育成の結果なのです。

個人主義はわたしたちを、さらに自由に、平等に、より兄弟にしてくれるわけではありません。・・・過激的な個人主義は、駆逐するのが非常に難しいウイルスです。だますのです。個々の野心と安心を積み上げれば共通善を築けるといわんばかりに、すべては自分の野心に任せるところから始まるのだと、わたしたちに信じ込ませるのです。

《人々を鼓舞する普遍の愛》

社会的友愛と普遍的兄弟愛を目指して歩むには欠かせない、基礎となる認識があります。・・・人にはどれほど価値があるのかを知っていると言うことです。・・・「資源の少ない地や開発途上の地に生まれたことによって、その人が十分な尊厳を持たずに生活することが正当化されるわけではない」という社会生活の基本原則ですが、・・・自分たちの目的に役に立たないと考える人々からは、様々なやり方でそれをつねに無視されるのです。

すべての人間は、尊厳をもって生き、全人的に発展する権利を有しています。この基本的な権利は、いかなる国も否定してはなりません。・・・人としての尊厳は、境遇に基づくものではなく、

その人の存在という価値に根拠があるのです。この基本原則が守られていなければ、兄弟愛にも人類の存続にも未来はありません。

この原則を、偏向的に取り入れるグループがあります。彼らは、すべての人に可能性があるが、その先はすべて各人次第だと主張します。この偏った観点によるならば、「取り残された人、弱い人、生活手段をほぼ断たれている人への出資」は、理にかなわないものでしょう。・・・国家と市民社会の諸制度には、特定の経済・青児・イデオロギーのメカニズムを持つ、際限のない効率主義的構造を超え出ることが求められます。諸制度は間違いなく、まず人と共通善とに向けられるものだからです。

・・・障害を持つ人貧困家庭に生まれた人、高等教育を受けずに育った人、病の適切な治療を受けられずに育った人に、同じルールを当てはめるのは明らかに無理なことです。・・・実際、「経済的自由の行使が阻まれているにもかかわらず、また雇用機会が連続的に減少しているにもかかわらず、経済的自由を声高に叫ぶのは二枚舌を使うこと」です。自由、民主主義、兄弟愛といったことばから、意味が抜き取られてしまうのです。・・・人間的で兄弟的な社会とは、必要最低限のものが保管されるだけでなく、多くの利潤を生まないとしても、時間がかかろうとも、・・・その人がベストの力を発揮できるよう、だれもが人生の旅路においてよりそいを得ることが、効率的かつ安定的に保障されるよう努める社会です。

人間は不可侵の権利を備え、生まれながらにしてつながりに開かれています。その根底には、他者との出会いへと、自己を超えて向かうようにとの呼びかけがあります。「・・・各人の権利は、より偉大な善へと調和的に秩序づけられていなければ、さりげなく解釈され、結果的に争いと暴力の源となるのです。」 ★10月号へ

ミサの案内

主 日	平 日
18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会	6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂 ★10時～(毎月第1金曜日) :延岡教会

◎ミサのついて

- 1) 9月4日(日)のミサは、「**被造物を大切に**する世界祈願日」となります。
- 2) 9月25日(日)のミサ献金は「**世界難民移住移動者の日**」のためとなります
- 3) 初金曜日のミサは、9月2日(金)の午前10時から行われます。

◎「**すべてのいのちを守るための月間**」について

9月1日から10月4日までの期間、「**被造物の声を聞け**」をテーマとし環境問題啓発を行います。被造物の声に耳を傾けることを覚えることで、その中にある、ある種の不協和音に気づくように促します。

日本カトリック司教協議会会長である菊池功大司教は、「社会問題としての環境への取り組みに留まらず、キリスト者が個人として、共同体として、霊的にも、社会的にも神と、自然と他者と調和して起きていくための取り組み」を各教区などとの連携を進め、それに対するわたしたちの協力を願う会長談話を発しております。個人的にも取り組んでいらっしゃる方々もおられると思いますので、一層、この期間のテーマを意識して過ごして参りましょう。(会長談話はボードに掲示)

◎新しいミサ式次第について

ミサ式次第解説(10頁)を各自お取り頂き、理解を深めてください。

◎マリア会の集会について

9月18日(日)ミサ後に行います。代表者からマリア会の在り方などについて説明と、その事についての意見交換となります(ご婦人の方々が対象となります)。

◎勉強会について

9月9日(金)から再開となります。午前10時から教会にて行います。

◎赦しの秘跡:午前8時45分から9時15分の間(日曜日)告解室にて行います。

◎聖書朗読者一覧

月 日	主 日	第1朗読者氏名	第2朗読者氏名
9月 4日	年間第23主日		
9月11日	年間第24主日		
9月18日	年間第25主日		
9月25日	年間第26主日		
10月2日	年間第27主日		